

体育理論「古代オリンピック」授業案

対象：高校1年生 40名

本時の位置：5時間中の3時間目

授業の目標：古代オリンピックについて学習し、現在受けつがれていることについて知ること
現在のオリンピックのあり方について考えられるようになる。

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	<p>＜前時の復習と本時の内容＞</p> <p>発問① オリンピックの開催が与えた影響、残したものはどのようなものがあったでしょう。</p> <p>オリンピックは有形無形さまざまな影響を周囲に与えるが、近代オリンピックが模範とした「古代オリンピック」とはどのようなものだったのだろうか。</p>	<p>前時の学習を思いさせ、近代オリンピックと古代オリンピックの関わりについて興味を引く。</p>
展開 ①	<p>＜古代オリンピックの始まり＞</p> <p>紀元前8世紀頃の古代ギリシャポリス（都市国家）間の争いが絶えなかった →真美のお告げによる休戦、競走の開催 ＝古代オリンピックの始まり 「平和の祭典」の意味</p> <p>＜古代オリンピックの競技＞</p> <p>発問② 古代オリンピックにはどんな競技があったか知っていますか。</p> <p>競技種目の紹介：スタディオン走、パンクラチオン、戦車競走、武装競走、五種競技 など 幅跳び、やり投げなど現在と似た競技、異なる競技</p>	<p>古代オリンピックの始まりについて学習させ、オリンピックのもともとの意義について考えさせる。</p> <p>「エケケイリア（聖なる休戦）」について説明し、現在に受け継がれる「平和の祭典」の意味を知り、考えさせる。</p> <p>競技を具体的に説明しイメージできるようにする。 (写真などの資料)</p>
展開 ②	<p>＜大会の優勝者に与えられたもの＞</p> <p>発問③ 古代オリンピックでは優勝者にどんなものが与えられたでしょう。</p> <p>→ 優勝者には金メダルでも賞金でもなく、オリーブの冠が贈られた。その意味 優勝者の栄誉と神話性 自国での賞賛と優遇：食費や税の免除、高額な商品 理想的な身体と芸術との関係</p>	<p>現在のオリンピックで優勝者に与えられるものとの比較。</p> <p>古代オリンピックにおける選手にとっての優勝の価値（その後の待遇）を知り、現代と比較して考える。</p>
展開 ③	<p>＜古代から現代に受け継がれるレガシー＞</p> <p>今日のオリンピックは19世紀末に復興されたもの。では、古代オリンピックの何を受け継いだのだろうか。</p> <p>1) 平和思想：平和な社会に貢献するオリンピック・ムーブメント 2) オリンピックそのものと選手への賞賛 3) 不正防止に対する努力：古代オリンピックが1200年間続いた理由の一つ</p>	<p>古代オリンピックから現在の受け継がれているものについて理解し、具体的な例を挙げて自ら今後のあり方について考えさせる。</p>
まとめ	<p>本時の学習を振りかえり、学習の成果を確認する。 次回の予告</p>	<p>学習カード、アンケート調査</p>